第65回国民体育大会ゆめ半島千葉国体バスケットボール競技

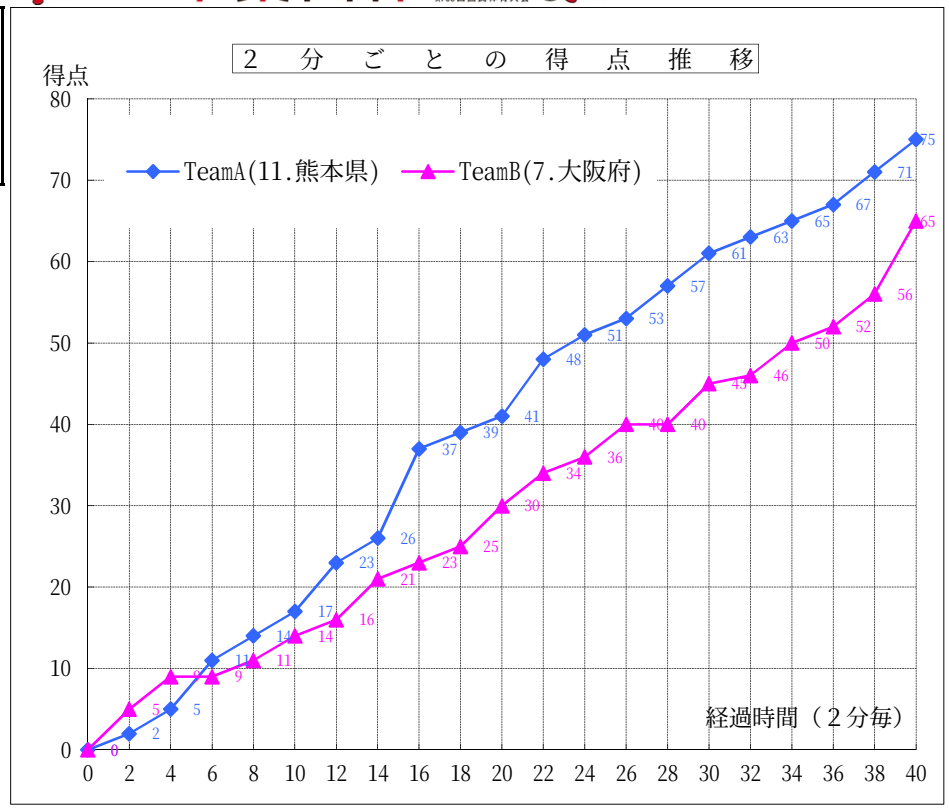
ゆめ半島千葉国体2010 第65回国民体育大会

28N4
CBA2010

(成年女子)準決勝

試 合 日： 2010/09/28
開始時刻： 15：45
会　　場： 八千代市民体育館
コ ー ト： Nコート
試 合 順： 第4試合(成年女子)準決勝

Team A		Team B
11.熊本県	75 (17 − 14, 24 − 16, 20 − 15, 14 − 20, −) 65	7.大阪府
(熊本県)		(大阪府)



TeamA(11.熊本県)

№	PT	選 手 名	得点	3ﾎﾟｲﾝﾄ 成	2ﾎﾟｲﾝﾄ 成	ﾌﾘｽﾛｰ 成	反則	ﾘﾊﾞｳﾝﾄﾞ off	def	計	ｱｼｽﾄ	ﾌﾞﾛｯｸｼｮｯﾄ	ﾀｰﾝｵｰﾊﾞｰ
4	◎	守田 佳代	9	1	3	0	1	2	2	4	2	0	2
5	○	土橋 里美	4	0	2	0	2	1	4	5	1	0	0
6	◎	川田 朋恵	4	0	2	0	1	0	4	4	3	0	4
7	-	田中 愛巳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	◎	坂田 奈菜実	21	2	7	1	1	0	6	6	2	1	2
9	-	松村 成美	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	-	松尾 智奈美	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	○	松枝 三恵	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
12	◎	中島 雪枝	21	2	5	5	1	2	5	7	6	1	6
13	○	濵本 愛梨	6	0	3	0	4	0	5	5	1	2	2
14	-	久冨 さやか	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	◎	米村 知紗	10	0	4	2	2	2	4	6	1	1	3
	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	2	2	4			0
合 計			75	5	26	8	14	9	32	41	16	5	19

TeamB(7.大阪府)

№	PT	選 手 名	得点	3ﾎﾟｲﾝﾄ 成	2ﾎﾟｲﾝﾄ 成	ﾌﾘｽﾛｰ 成	反則	ﾘﾊﾞｳﾝﾄﾞ off	def	計	ｱｼｽﾄ	ﾌﾞﾛｯｸｼｮｯﾄ	ﾀｰﾝｵｰﾊﾞｰ
4	◎	根東 里紗	0	0	0	0	2	0	4	4	3	0	0
5	○	市川 藤乃	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
6	-	安川 明穂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	◎	杉中 悠香利	7	0	3	1	2	5	4	9	0	0	1
8	○	三宅 瞳	0	0	0	0	2	1	1	2	0	0	0
9	◎	瀬戸 あゆみ	12	0	6	0	4	5	5	10	0	0	2
10	-	松浦 尚子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	◎	栗原 三佳	23	4	3	5	3	1	6	7	2	0	1
12	○	川上 奈恵美	5	1	1	0	0	1	1	2	1	0	1
13	○	山本 由佳	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
14	◎	堀内 聡美	8	2	1	0	0	0	1	1	2	0	6
15	○	畠中 絵里	8	0	1	6	0	2	4	6	0	0	3
	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	3	1	4			1
合 計			65	7	16	12	13	18	27	45	10	0	16

タイムアウト

	前半(1･2ﾋﾟﾘｵﾄﾞ)		後半(3･4)ﾋﾟﾘｵﾄﾞ			延１	延２	延３	延４
TeamA	16:30		24:26						
TeamB	15:03		21:52	35:07	38:38				

【戦評】

両チーム共ハーフコートマンツーマンで試合開始。第１Ｐ、大阪は長身を活かした＃９瀬戸のポストプレー、＃１１栗原の３ｐで得点。一方、熊本は序盤リードを許すも激しいディフェンスで大阪のインサイドプレーを抑え流れをつかむと、＃１３濵本のジャンプシュートで逆転し３点リードで第１Ｐを終了する。続く第２Ｐ、熊本のディフェンスを大阪は攻めきれずターンオーバーが目立ち、＃７杉中のポストプレーなどで加点するもリズムに乗れない。対する熊本は、＃８坂田がオールラウンドの活躍を見せ、１３得点をあげるなど点差を広げて前半を終了。後半、早く追いつきたい大阪だが、熊本＃８坂田に連続得点を許し、たまらずタイムアウト。ディフェンスを３－２ゾーンに変え、３連続得点をあげ差を詰めるが、熊本はガード＃６川田の冷静なゲームメイクと粘り強いディフェンスで大阪の反撃を許さない。第４Ｐ残り３分、大阪は２－２－１ゾーンプレスを試みるが及ばず、７５対６５で熊本が勝利した。熊本の豊富な運動量が勝利を呼び込んだ試合であった。

主審	平 育雄	副審	吉橋 雅一	記入者	佐藤 聖子